

きょうのテーマ

服は「おしゃべり」

あなたの人柄 伝えます

なるほど!



印象 どう変化?



見比べてみよう

写真を見てください。3色の青い布、印象が違いますか? 左の紺色は落ち着いていて、真ん中の青色は元気が。右の淡い水色は優しいそう。「服はめちやくちや『おしゃべり』なんです。服育net研究所(大阪市)の有吉直美さん(52)は話します。有吉さんは、服の力や役割について学ぶ「服育」を知っています。服は、色や柄で、着る人の好みや性格を周りに

新学期や入学式は、出会いのチャンス。初めて会うクラスメートに、どんな印象を持ってほしいですか? 明るく元気? しっかり者? それとも、優しい感じ? そのイメージ、服で表現できるかもしれません。

年間17億着
ごみ処分!



再利用方法はいろいろ

服を通じて、環境問題も考えてみましょう。環境省の2020年の調査によると、日本では1年間に82万tの服が新たに売られる一方で、51万tがごみとして処分されます。服1着を300gとした場合、17億着が捨てられているのです。

どんな服にも寿命はあります。ただ、サイズが小さくなったものはきょうだいや知り合いに譲る、リサイクルショップに持ち込むなどすれば、ごみを減らすことができます。古着回収に出せば、車の内装材や軍手などに生まれ変わります。

SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に関係します。



伝えていくのです。例えば、制服にもよく使われる白や紺、グレーは、きち

んとした印象を与えます。襟付きなら、入学式など大事な日にぴったり。無地や細めのストライプ、小さなドットな

ど、控えめな柄があってもいいですね。

明るい性格に見せたいときは、黄色やオレンジの服がおすすめです。人との距離を縮める効果がある「コミュニケーションカラー」ともいわれ、クラスメートと仲良くなる手助けをしてくれるかもしれません。

淡いピンクやラベンダーなどのパステルカラーは、優しい印象に。色とは別に、好き

印象の異なる3枚の青い布を見せる有吉直美さん
大阪市のチクマで

知って用語

服育® 身近な服から、健康や安全だけでなく、コミュニケーションや環境問題、海外とのつながりも学ぼうという取り組み。制服などを扱う商社チクマ(大阪市)が2004年に始め、服育net研究所を設けました。

なスポーツチームのユニフォームを着れば、趣味の合う子と出会える可能性が高まります。

「見せたい自分をイメージして選んでみて」と有吉さん。ただ、どんな服でも「清潔感を大切に」と呼びかけます。おしゃれな服でも、汚れやしわがあると、印象は悪くなります。ジャケットやシャツはハンガーにかけ、汚れが目立つ部分は、洗濯機に入れる前に手洗いを勧めます。「服は、暑さや寒さから身を守り、人柄を伝えてくれます。服を味方につけて、自分を表現してくださいね」

〈1〉 服装によって印象はどう変わる? 上の絵を見て家族や友人と話し合おう。

〈2〉 明日の予定に合わせて着る服を選んでみよう。



那智の滝 落差133m 日本一

和歌山県那智勝浦町の那智山の原始林から落ちる「那智の滝」は落差133mで日本一。水が出る「落ち口」に三つの切れ目があり、水が分かれて流れ落ちるため三筋の滝ともいいます。近くの那智山青岸渡寺の三重塔との眺めは絶景です。



B5判ノートに横向きに貼れるよ